

# EA21 環境活動レポート

2017年1月～2017年12月



2018年4月20日

**株式会社東建**

## ① 環境方針

# 環境方針

## 環境理念

当社の木材加工及びサービスが環境に及ぼすあらゆる影響を踏まえ地球環境保全のため環境負荷の低減に取り組み、循環型社会形成のために貢献する。

## 基本方針

当社の木材加工及びサービスにより生じる環境影響の負荷低減のため、エコアクション21による環境経営システムを構築し、環境活動を継続的に推進するため、代表者による活動の見直しを実施し、改善等による活動の向上を図る。又、当環境活動の重点目標を設定し、それらを達成するための環境活動を推進し、環境関連法規等を遵守すると共に循環型社会形成への貢献を目指す。

### [ 重点目標 ]

- 1、製品不良率の低減、材料歩留向上等、生産活動の質を高めることにより、ムダを削し、二酸化炭素排出量、及び廃棄物の削減を行います。
- 2、水資源の適切な使用を行います。
- 3、グリーン購入を推進します。

—この環境方針は要求に応じ一般に公開する—

2011年 4月20日

株式会社 東建

代表取締役社長

中 谷 守 男

## ② 事業所の概要

### (1) 事業所名及び代表者名

株式会社東建

代表者:代表取締役社長 中谷守男

### (2) 所在地

本 社:〒323-0051 栃木県小山市生駒851-1

第二工場:〒323-0057 栃木県小山市南小林676-2

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:黒田光彦

事務局:加藤晴夫、保知戸隆志、鈴木昌子

連絡先:本社 電話 0285-38-0885 FAX 0285-38-0889

第二 電話 0285-33-1881 FAX 0285-33-1882

E-mail: token@token-oy.com

### (4) 事業内容

木材・合板等の製材・加工・組立を主な業務として住宅等、木材製品を使う  
様々な分野にサービスを提供します。

### (5) 事業規模

1) 設立年月日:昭和61年4月15日

2) 資本金 :1000万円

3) 従業員数 :40名

4) 敷地面積 :5229㎡

### (6) 認証登録範囲

木材・木製品等加工製造業

### (7) 環境活動レポートの対象期間

2017年1月～2017年12月

③ 環境目標とその実績

※ 網掛けは増加

	基準値 2016年実績	2017年(1年目)			2018年(2年目)			2019年(3年目)		
		目標	実績	結果	目標	実績	結果	目標	実績	結果
電力量	465,789 (kWh)	465,789	496,828 6.6%増	×	465,789			465,789		
	335.4 (kWh/百万)	335.4	389 16%増	×	335.4			335.4		
	235,223 (kg-CO2)	235,223	250,898 6.6%増	×	235,223			235,223		
	158.9 (kg-CO2/百万)	158.9	182.9 15%増	×	158.9			158.9		
ガソリン	8,074 (ℓ)	8074	8282 2.5%増	×	8,074			8,074		
	5.38 (ℓ/百万)	5.38	6.43 19.5%増	×	5.38			5.38		
	18,732 (kg-CO2)	18,732	19,228 2.6%増	×	18,732			18,732		
	12.48 (kg-CO2/百万)	12.48	15 20%増	×	12.48			12.48		
軽油	20,405 (ℓ)	20,405	23,583 15.5%増	×	20,405			20,405		
	13.53 (ℓ/百万)	13.53	18.6 37.4%増	×	13,53			13,53		
	53,461 (kg-CO2)	53,461	61,890 15.8%増	×	53,461			53,461		
	35.4 (kg-CO2/百万)	35.4	48.1 35.9%増	×	35.4			35.4		
CO2 合計	307,416 (kg-CO2)	307,416	332,016 8%増	×	248,261			248,261		
	206.78 (kg-CO2/百万)	206.78	246 18.9%増	×	206.78			206.78		

電力の二酸化炭素排出係数は、0.474kg-CO2

	基準値	2017年(1年目)			2018年(2年目)			2019年(3年目)		
	2016年実績	目標	実績	結果	目標	実績	結果	目標	実績	結果
廃棄物	コピー用紙 裏紙利用	継続	継続	○	継続			継続		
	金属くず リサイクル	100%	100%	○	100%			100%		
水	1634.3 (ℓ)	生活排水程度なので日常管理の徹底を継続とする。								
他	グリーン購入	継続	継続	○	継続			継続		

#### ④ 2017年度の実施内容と評価結果

項目	取組内容	評価結果
電力量削減	空調温度の適正化・表示	○
	不要照明OFFの推進	○
	デマンド計で設定値を決めピーク電力を抑制	○
	エアコンの清掃実施	○
	セキスイ在庫管理システムの運用	○
	チームによる自社改革・目指せゼロ災害活動	○
軽油使用量削減	エコドライブの推進	○
	社用車の点検、整備の徹底	○
	具体的削減案(アイドリングストップ等)の実行	○
ガソリン使用量削減	エコドライブの推進	○
	社用車の点検、整備の徹底	○
	具体的削減案(アイドリングストップ等)の実行	○
灯油使用量削減	空調温度の適正化・表示	○
	窓の開け閉めの配慮	○
水使用量の削減	トイレの節水	○
	節水表示(手洗い・トイレ)	○
廃棄物削減	分別ルール of 徹底	○
	裏紙使用ルール of 徹底	○
グリーン購入	事務用品を対象に継続	○

## ⑤ 次年度の取組内容

次年度は、今年度(2017年度)の取組項目を継続するとともに、電力使用量の削減については、以下の項目を追加して取組みます。

- 1) 製品クレーム・顧客クレームの撲滅を図ること
- 2) 生産効率の改善を追求すること
- 3) 過剰在庫の削減に取り組む

## ⑥ 環境関連法規等の遵守状況の確認と結果、違反、訴訟等の有無

2017年 12月20日に、環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反、訴訟等はありませんでした。また、弊社では総業以来、現在に至るまで、関係当局からの指摘等を含め、違反、訴訟等は全くありません。

## ⑦ 代表者による全体評価と見直しの結果

2017年度の環境目標については、すべて未達になってしまった。

原因としては以下のことが考えられる。

- 1) 取引先の増加による製品アイテムの増加
- 2) 工場内における手元照明の増設
- 3) 設備の老朽化
- 4) ピッキングミスが発生による、無駄な配送の増加

次年度は以下の事項に重点的に取り込むこと。

- 1) 製品クレーム・顧客クレームの撲滅を図ること
- 2) 生産効率の改善を追求すること
- 3) 過剰在庫の削減に取り組む

## ⑧ 総括

2017年度の実績は上記の通り不本意な結果となってしまいましたが、本業エコを中心に据えて、次年度は目標達成出来るように全社員一丸となって取組みます。